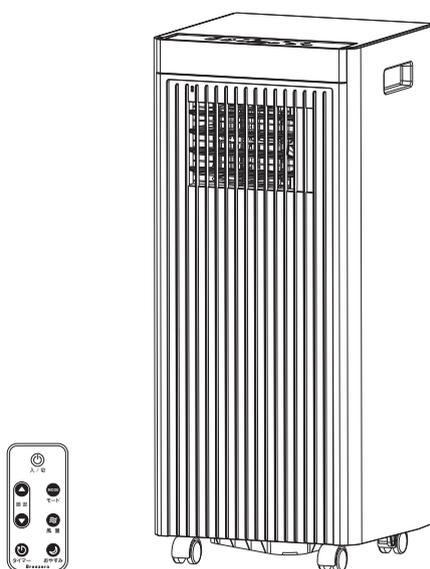


2.3kwスポットクーラー HO-2325-WHBR

もくじ

安全上のご注意	2
各部名称・付属品	5
ご使用の前に	7
知っておいていただきたいこと	7
設置について	7
運転前の準備	7
リモコンについて	9
使いかた	10
運転を開始する	10
運転をモードを切り替える	10
停止する	14
風向きを調整する	14
機能を設定する	14
排水する	18
点検と修理	19
お手入れと保管方法	19
長期使用製品についてのご注意	20
製品の廃棄について	20
故障かな?と思ったら	21
製品仕様	23
免責事項	24
アフターサービス	24
テクニカルサポートのご案内	25
保証書	裏表紙



このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 保証書に販売店名、お買い上げ日などが記入されていることを必ずお確かめください。
- この取扱説明書は大切に保管して、必要なときにお読みください。
- デザインおよび仕様については改良のため予告なしに変更されることがあります。
- 本書に記載の社名および製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本書内のイラストや画像はイメージです。
- 本製品は日本国内専用です。 For use in Japan only.
- 発行元の許可なく本書の内容を複写、転写することを禁止します。

安全上のご注意

ここに記した注意事項は、本製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防ぐためのものです。ここでは注意事項を「△警告」と「△注意」の2つに区分して、安全にご使用いただくために必ずお守りいただく内容を記載しています。

また、ご使用前に各部に破損・亀裂・変形などの損傷がないことをよくご確認ください。

△警告 この表示は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

△注意 この表示は、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

 記号は<禁止>(しないでください)を表示します。

 記号は<強制>(必ずしてください)を表示します。

警告



分解禁止

本体および付属品を分解・修理・改造しない

感電や火災・故障の原因になります。
※点検・修理はお買い上げの販売店または
弊社サポート窓口へご相談ください。



電源プラグを
抜く

長期間使用しないとき、移動させるとき、
お手入れのときは安全のために必ず電源プラグを
コンセントから抜く

絶縁劣化による火災・感電や故障の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気の多い場所、水のかかる場所では
使用しない

本体やリモコンを水につけたり、水をかけたりして
丸洗いはしない

漏電・感電・火災・故障の原因になります。



禁止

絶対にお子様や、製品の安全な使用方法と
危険性を理解することが困難な方だけで
使用しない

製品の安全な使用方法と危険性を理解している方の
監督下で使用してください。
感電・事故・けがの原因になります。



禁止

屋外や直射日光の当たる場所で使用しない

この製品は屋内専用です。
故障や色褪せの原因になります。



禁止

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に
放置、保管しない

動作異常のおそれがあり、発煙、発火の原因になります。



禁止

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしない

本体の変形によるショートや発火、冷媒配管や
ドレン配管の破損、冷媒が漏れる原因になります。



禁止

本体のすき間や可動部にピンや針金などの
異物を入れない

感電や故障の原因になります。



禁止

引火性のもの(殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、
ベンジン、シンナー)の近くで使用しない

また、本体に向けて吹きかけない

爆発や火災の原因になります。



禁止

使用中のコンセントの近くに本体を設置しない

温風モード使用時に過熱によって電源コード
や電源プラグが損傷し、感電、火災、事故の
原因になります。



禁止

風を長時間、直接身体にあてない

※特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方には
ご注意ください

健康を害する原因になります。
皮膚の弱い方、乳幼児、温度調節をご自身でできない
方には周囲の方が特にご注意ください。



禁止

ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に向けて
送風しない

火災ややけどの原因になります。



禁止

送風口や吸気口、通気口、排気口をふさいだり、
布などで本体を覆ったりしない

加熱による本体の変形や発火の原因になります。



禁止

乳幼児やペットの手の届くところにボタン電池を
置かない

ボタン電池を誤飲する原因になります。
万一、誤飲した場合はすぐに医師にご相談ください。



禁止

ボタン電池を火の中に入れて、水に濡らしたり
しない・分解や加熱をしない

破裂や発熱の原因になります。



指示

電源は必ず家庭用100V電源(容量15A-
1500W)を単独で使用する

※タコ足配線をしない

異なる電圧での使用は発熱による故障、
火災の原因になります。
タコ足配線によって定格電流を超えると、
発熱による発火や火災の原因になります。

安全上のご注意



延長コードやタップ、ソケットなどを使用しない
コンセントや電源プラグ、電源コードが異常発熱して発火するおそれがあります。



電源プラグに付いたホコリは乾いた布で定期的に拭き取る
ホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良を起こす可能性があり、火災の原因になります。

電源コードや電源プラグ、アース線を取り扱うときは、以下のことを守る

火災や感電、ショート、ケガの原因になります。

- ・電源コードや電源プラグ、アース線を乱暴に扱ったり、無理に曲げたり、傷つけたり、重いものをのせたり、加工したり、機器に挟み込んだりしないでください。
- ・ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- ・電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
- ・電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- ・使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- ・損傷した電源コードや電源プラグを使用しないでください。
- ・破損した場合は、弊社サポート窓口へご相談ください。



ご使用時以外は、安定した安全な場所に保管する

落下、水ぬれのおそれがある場所、衝撃を受けるおそれがある場所を避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。



ボタン電池を保管、廃棄する際は、電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼る

- ・複数のボタン電池が重なり合うと、一方のボタン電池が導線として働き、電極がショートして破裂や発熱を引き起こし、火災につながるおそれがあります。
- ・廃棄する際は、お住まいの市町村の指示に従って廃棄してください。
- ・ヘアピンやコインなどの導電物と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。



周囲に十分な空間を確保して設置する
設置距離について、P.7「設置について」を必ずご確認ください。



ビニール袋などの梱包材は、お子様やペットの手の届かない場所に保管する
※お子様が口に入れたり、かぶったりしないよう十分ご注意ください

指示

誤ってかぶるなどすると、窒息による死亡の原因になります。



指示

長時間リモコンを使用しないときは、ボタン電池をリモコンから取り出す

消耗したボタン電池を入れたままにしておくと、液漏れや腐食により、リモコンが故障する原因になります。

液漏れを起こした場合は、液に触れないように注意し、すぐに電池を取り出してください。
漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。万一、液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し、医師にご相談ください。



電源プラグを抜く

異常時や故障時は、ただちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用を続けると、火災・感電のおそれがあります。

＜異常／故障例＞

- ・電源を入れても運転しないときがある
 - ・電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い
 - ・焦げ臭いにおいがする
 - ・運転中に異音がする
- その他異常と思われるときは、使用せずに弊社サポート窓口へご相談ください。



アース線接続

漏電遮断器、アース線は必ず接続する

故障や漏電した場合、感電するおそれがあります。

＜アース線の接続について＞

- ・コンセントのアース端子に接続してください。
- ・漏電遮断器、アース端子がない場合は、別途工事が必要になります。お買い上げの販売店に工事を依頼してください。
- ・電気工事は関連する法令・規定に基づき、必ず電気工事士の資格を持った方がおこなってください。
- ・ガス管や水道管、電話や避雷針のアース、絶縁物などと接続しないでください。

安全上のご注意

⚠ 注意



禁止

業務用として使用しない ※本機は家庭用です
故障の原因になります。



禁止

高所や足元が不安定な場所では使用しない
落下、転倒などにより、ケガや事故の原因になります。



禁止

**通気フィルターと吸気フィルターを取り外した
状態で運転しない**

本体内部にホコリがたまりモーターが過熱するなど、
漏電や事故、故障の原因になります。



禁止

運転中は本体を移動させない

移動させる際は運転を停止して、電源プラグを
コンセントから抜いてください。
故障や水漏れの原因になります。



禁止

**製品の上に物を置いたり、踏み台にしたり、
腰掛けたりしない**

転倒、破損によるケガや事故の原因になります。



禁止

**押し入れや家具のすき間などの狭い場所に
設置しない**

発熱、発火の原因になります。



禁止

送風口や吸気口、排気口をふさがない

衣類やカーテンなどで送風口や吸気口、
排気口がふさがれると、過熱による本体の変形、
発火の原因になります。



禁止

薬品などの周囲では使用しない

本体のプラスチック部品が劣化し、破損する
おそれがあります。



禁止

**テレビ、パソコン、オーディオ機器などの近くに
設置しない**

テレビ、パソコン、オーディオ機器などに雑音が入る
原因になります。



禁止

**食品・動植物・精密機器・美術品の保存や
冷却などの特殊用途には使用しない**

・保存品の品質低下等の原因になることがあります。
・動植物に悪影響を及ぼすおそれがあります。



禁止

**衣類の真下やカーテンの近くで使用しない
また、本体に衣類をかけて使用しない**

吸い込みによる故障や事故の原因になります。



指示

騒音に注意する

排気ホースから吹き出る風の音や、不安定な場所に
設置した場合の振動音などにより騒音が発生する
場合があります。
近隣の迷惑にならないよう注意してご使用ください。



指示

排気ホースは必ず取り付ける

閉め切った部屋で排気ホースを取り付けしないで
運転すると、排熱により室温が上昇する原因になります。



指示

**ボタン電池は電極(+/-)の向きに十分注意して
装着する**

正常に動作しない原因や、リモコンの故障の原因に
なります。



禁止

ボタン電池を素手で取り扱わない

・電極 (+/-) を素手で同時に触ると、
一気に放電して、消耗を早める原因になります。
・汗や手油などが付着すると、接触不良の原因に
なります。



指示

運転停止から運転再開までは5分以上空ける

電源プラグを差し直した場合や、ブレードが落ちた
場合も5分以上待ってから運転を開始してください。
すぐに運転を開始すると、圧縮機に負担がかかり故障の
原因になります。



禁止

送風口や吸気口、排気口、可動部に指を入れない
ケガの原因になります。



禁止

本体内部の熱交換器のアルミフィンに触らない
ケガの原因になります。



指示

**本機の性能を維持するため、定期的にお手入れを
おこなう**

「お手入れと保管方法」にしたがってお手入れをして
ください。
・汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。
・長期間使用しない場合は内部の水を捨て、しっかりと
乾かしてから保管してください。



禁止

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しない
塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、
アルコールなどは使用しないでください。

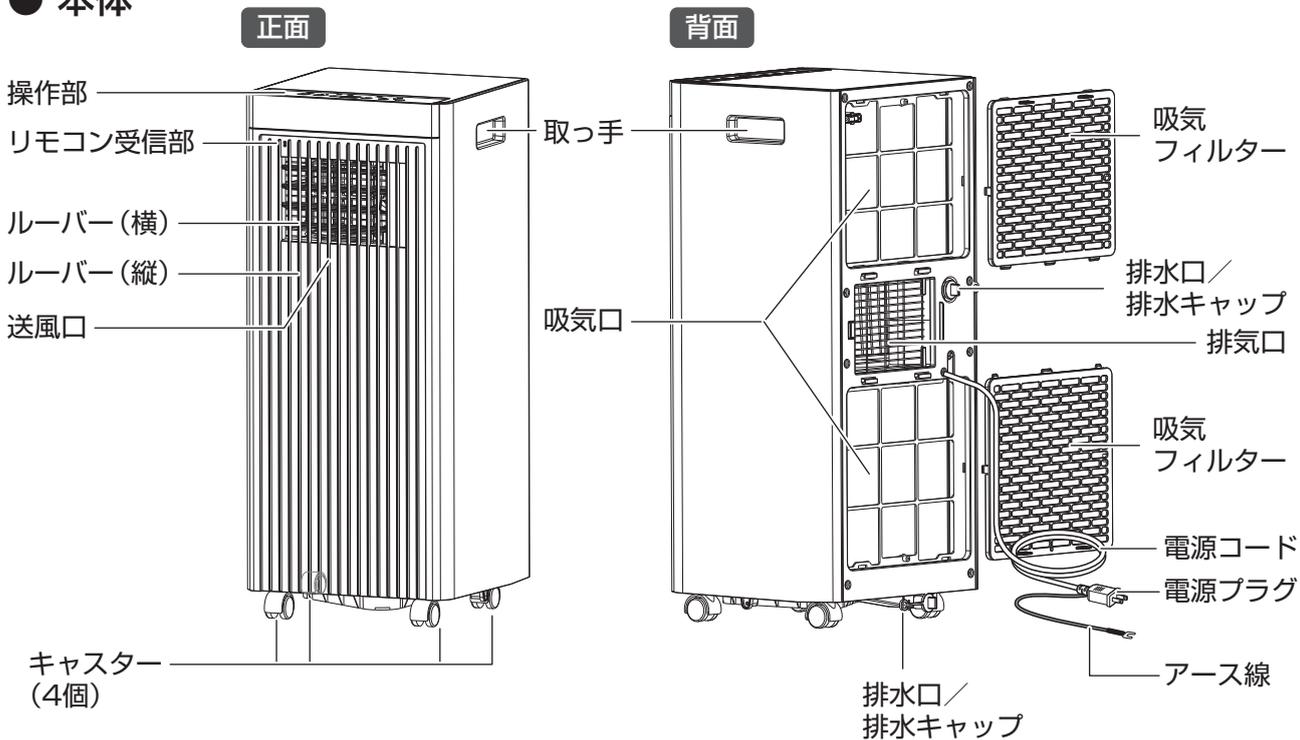


禁止

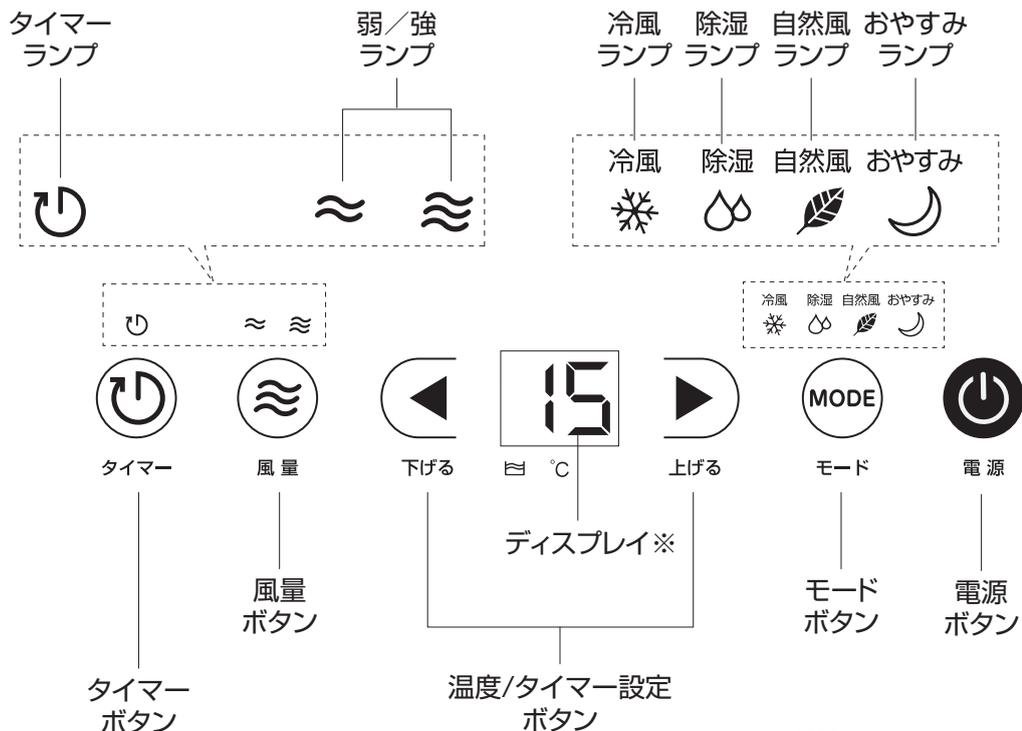
市販のエアコン洗浄スプレーは使用しない
製品内部の破損や、排水経路のつまりの原因になります。

各部名称・付属品

● 本体



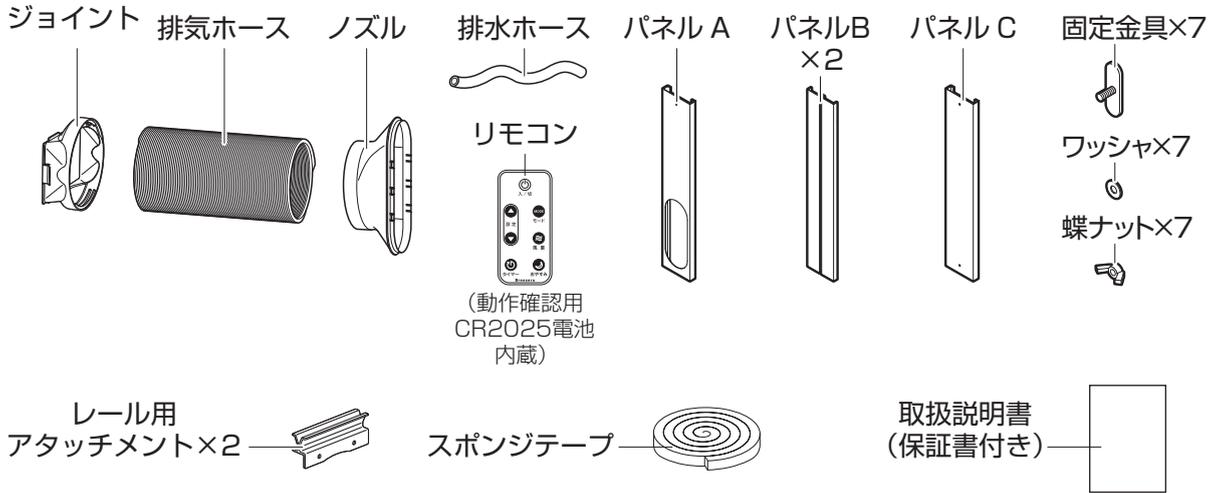
操作部



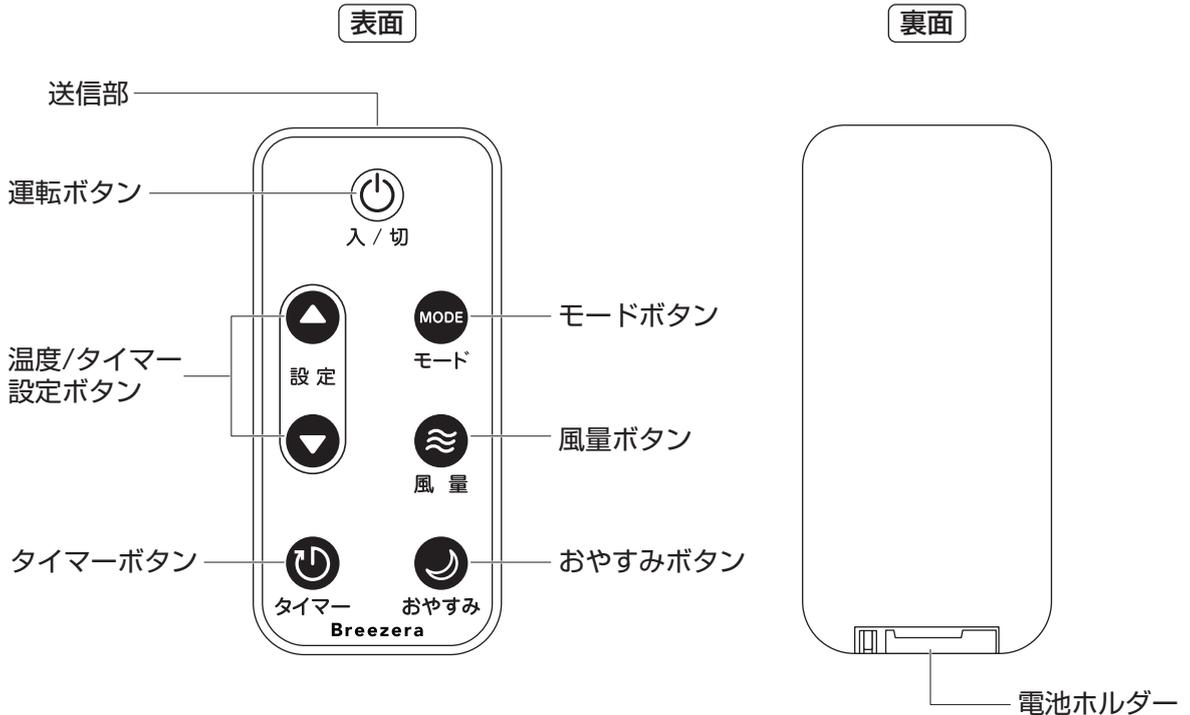
※周囲/設定温度とタイマーの設定時間を表示します。

各部名称・付属品

● 付属品



リモコン



ご使用の前に

知っておいていただきたいこと

●本製品は冷房機ではありません。

スポット冷風機のため部屋全体を冷房することはできません。

●運転可能な部屋の温度は、16℃～42℃です。

以下の環境になると自動保護機能が働き、運転を停止します。

◎冷風モード … 本体の周囲温度が43℃以上、または15℃以下

◎除湿モード … 本体の周囲温度が15℃以下

また、冷風モード時に冷却ユニットに霜が付いた場合は、霜が溶けたあとに正常運転に復帰できます。

●本体の周囲温度について

- ・ディスプレイに表示される温度は、本体に内蔵されている温度センサーが感知する製品の周囲温度となります。
- ・設置場所によっては温度が正確に表示されない場合があります。

次のような現象は製品の異常ではありません。

●アルミフィンについて

熱交換器に使用しているアルミフィンは、銅管の接続の際、熱により一部変色していますが、性能に影響はありません。

●露（つゆ）について

部屋の湿度が80%以上あるときに、長期間にわたって冷房運転を続けると、排気ホースの付近などに露が付き、落ちることがあります。

●霧（きり）について

冷房運転中に排気ホース付近から霧（煙）のようなものが見えることがあります。これは、吹き出した冷風で部屋の空気が冷やされて霧状に見えるためで、故障ではありません。

●においについて

部屋や芳香剤のにおい、化粧品、汗、タバコなどのにおいが本体に付着し、吹き出す風がおうことがあります。

●音について

- ・運転開始直後や停止後に「シュルシュル」という音や、運転中に水が流れるような音がすることがあります。これらの音は冷媒が流れる音です。
- ・運転中に本体から「ピシッ」という小さな音がすることがありますが、これは本体が冷やされて収縮することにより発生する音です。
- ・本機は圧縮機が稼働すると、「ビーン」という大きな音が鳴りますが故障ではありません。

●圧縮機の動作について

『電源』ボタンや『モード』ボタンを操作し、圧縮機が「ON」から「OFF」へ切り替わったあと、冷風モードに設定してもすぐに圧縮機が「ON」にならない場合があります。これは圧縮機保護のための機能です。圧縮機が再度「ON」になるまで約3分程お待ちください。※ご使用の環境によって時間は変化します。

設置について

●水平で安定した場所に設置してください。

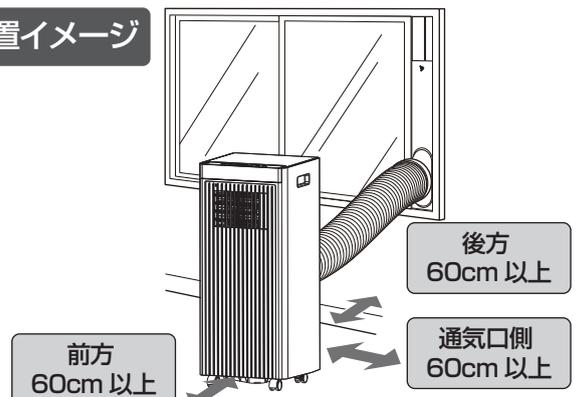
不安定な場所で使用すると、転倒や振動音が発生したり、水が漏れたりする原因になります。

●通気口、吸気口、送風口は、壁や障害物から60cm以上離してください。

●本製品の本体重量は約21kgです。重量に十分耐える場所に設置してください。

畳の上や、やわらかいフローリングの上などの傷がついたり、設置の跡が残ったりする可能性がある場所には設置しないでください。

設置イメージ



ご使用前に

運転前の準備

① 製品を取り出します。

包装箱を開けて包装材と付属品を取り出します。
包装箱と包装材は保管の際にお使いください。

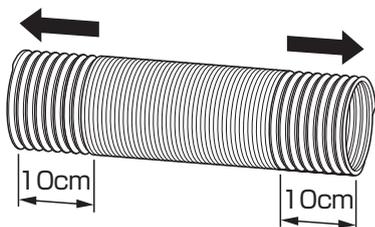
⚠ 注意 本製品の重量は約20kgです。
必ず2人以上で取り出し、設置してください。

② 本体を設置します。

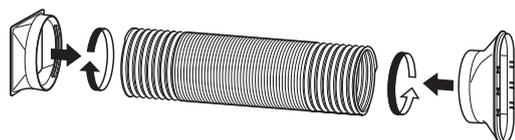
③ ノズルとジョイントを排気ホースに取り付けます。

※排気ホース類を使用せずに運転をすると室温が上がる原因となります。

a. 排気ホースの両端を10cm程度伸ばします。

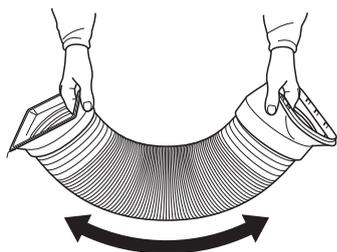


b. 排気ホースを時計回りに回してノズルとジョイントを取り付けます。



④ 排気ホースを調節します。

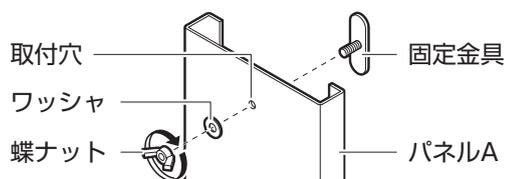
ノズルとジョイントを持ち、使用環境にあわせて排気ホースを曲げ伸ばします。



⑤ パネルを組み立てます。

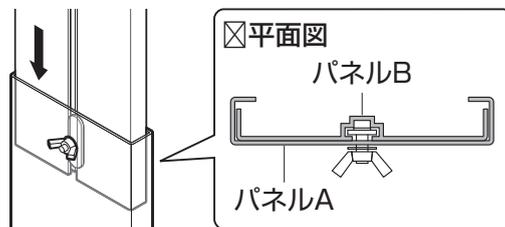
a. パネルAの取付穴に固定金具を差し込み、ワッシャを通して蝶ナットで仮止めをします。

⚠ 注意 蝶ナットは止まるまで締め付けしないでください。



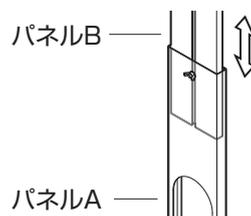
b. パネルAにパネルBを取り付けます。

固定金具を縦方向に向けて、パネルBの溝に差し込んでください。



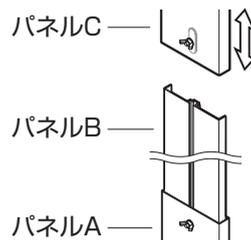
c. パネルを窓枠の高さにあわせませす。

パネルBを上下させて窓枠の高さにあわせ、蝶ナットを締め付けて固定してください。



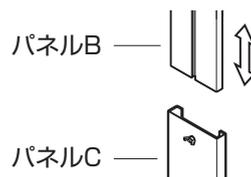
d. パネルAとBで高さが足りない場合は、パネルCを追加します。

a~cと同様の手順で取り付けてください。

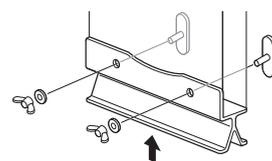


e. パネルAとBとCで高さが足りない場合は、さらにもう1枚のパネルBを追加します。

a~dと同様の手順で取り付けてください。



f. パネルの上下・両端にレール用アタッチメントを蝶ナット・ワッシャ・固定金具で取り付けます。

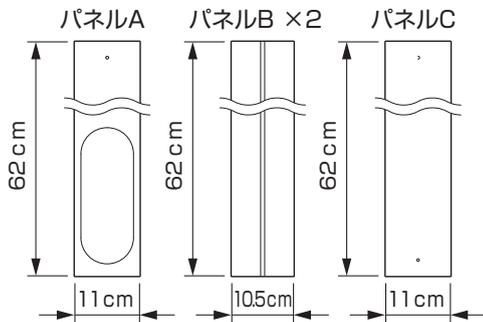


※ 窓枠とパネルの隙間が大きい場合は、パネル側面にスポンジテープを貼ってください。

ご使用前に

設置可能な窓枠高さについて

●パネルの大きさ



●窓枠の高さ89～117cm⇒A+Bを使用

※窓枠の高さが89cm以下の場合、パネルBがパネルAの穴を塞いでしまい、ノズルを取り付けることができません。

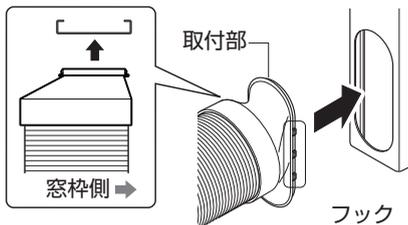
●窓枠の高さ124～173cm⇒A+B+Cを使用

※パネルCを使用しても118～123cmの窓枠には取り付けることができません。

●窓枠の高さ150～220cm⇒A+B+C+Bを使用

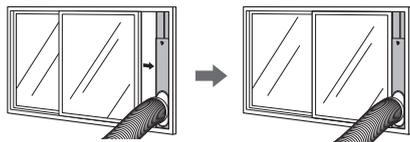
⑥ ノズルをパネルAの穴に取り付けます。

ノズルの取付部を窓枠側に向け、フック（6か所）で固定されるまで押し込んでください。



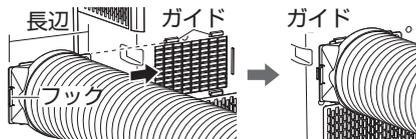
⑦ パネルを窓に取り付けます。

パネルを窓と窓枠の間に挟んで固定します。



⑧ 排気ホースを排気口に取り付けます。

ジョイントの長辺を上下に、フックを外側に向けてガイドに差し込み、奥まで押し込みます。



⑨ 排水キャップが排水口に取り付けられていることを確認します。

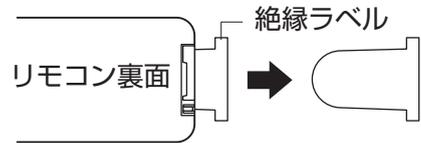
取り付けが不完全な場合、水漏れの原因になります。

※排水口は2箇所あります。P5「各部名称」をご参照ください。

リモコンについて

工場出荷の段階でボタン電池が装着されています。ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてください。

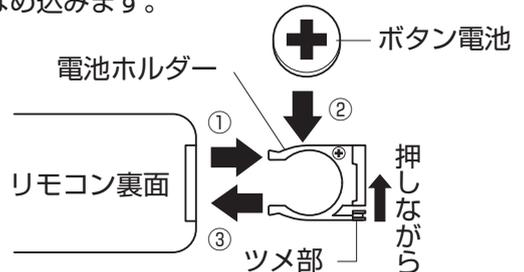
※製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、早く消耗する場合があります。



ボタン電池の交換方法

使用するボタン電池は「CR2025」です。

- ① リモコン裏面の電池ホルダーのツメ部を、矢印方向に押しながらかき抜きます。
- ② 新しいボタン電池の【+】を上にして装着します。
- ③ 電池ホルダーを「カチッ」と音がするまではめ込みます。

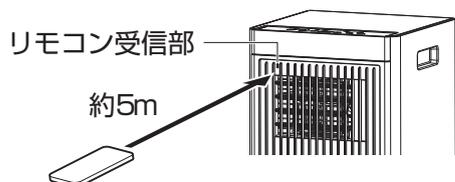


操作範囲

リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて使用してください。操作距離は直線で約5mです。

テレビやオーディオのリモコン等を使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数を利用している機器で起きる現象です。

このような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。

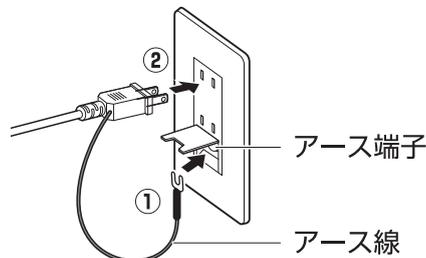


使いかた

運転を開始する

■ 運転のはじめかた

- ① アース線をアース端子に接続します。
アース線は必ず接続してください。
故障や漏電した場合、感電するおそれがあります。
※詳細はP.3のアース線の接続についてをご確認ください。



- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。
“ピー”と電子音が鳴り、ディスプレイとすべてのランプが点灯したあと消灯します。

- ③ 操作部またはリモコンの『電源』ボタンを押すと、ディスプレイに本体の周囲温度が表示されて運転を開始します。

初めてお使いになる場合や電源プラグを差し直した場合は、自動モードで運転を開始します。
初期設定温度は「23℃」です。

操作部



リモコン



運転モードを切り替える

■ 運転モードの切り替えかたと切り替わり順

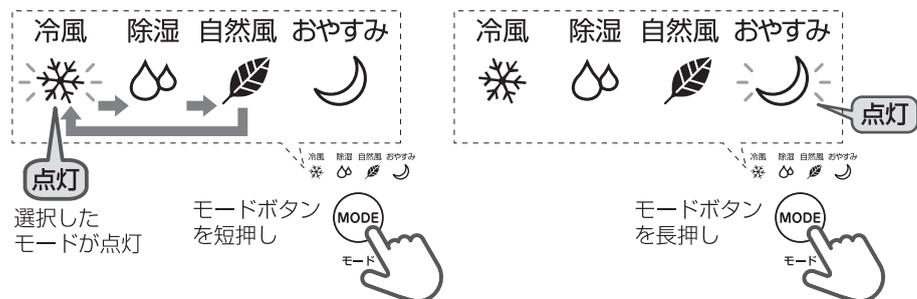
運転中に操作部またはリモコンの『モード』ボタンを押します。

『モード』ボタンを押すたびに「冷風」→「除湿」→「自然風」の順に運転モードが切り替わります。

「おやすみ」は、操作部の『モード』ボタンを長押し(約3秒間)します。

※短押しでは、「冷風」→「除湿」→「自然風」→「冷風」... となり、「おやすみ」に切り替わりません。

操作部



リモコン

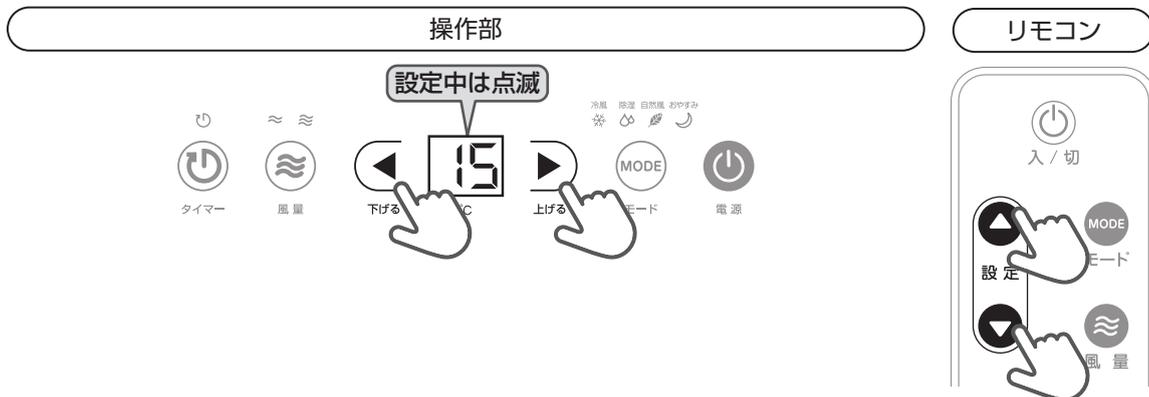


使いかた

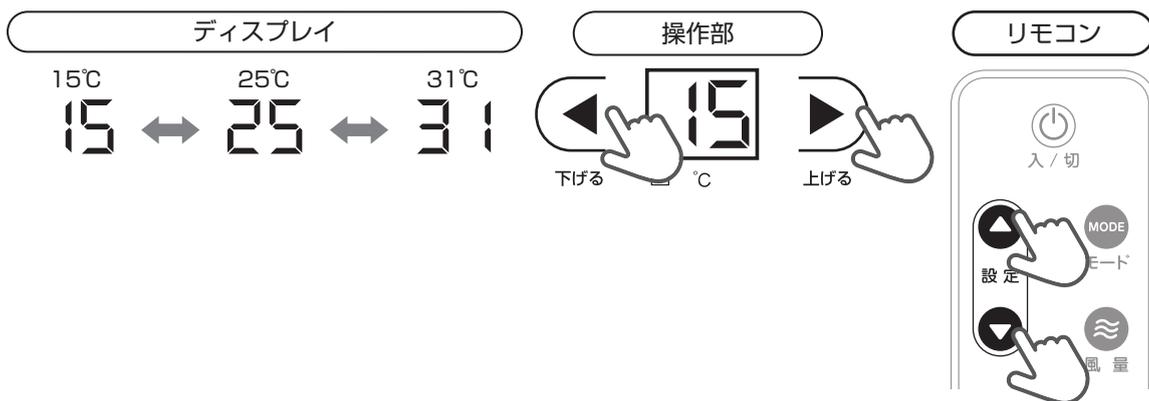
■ 設定温度の変更のしかた

冷風モード・おやすみモード時に、設定温度を変更できます。

- ① 運転中に操作部またはリモコンの『温度/タイマー設定』ボタンを押します。
 - ・ディスプレイが温度設定表示に切り替わり、点滅します。



- ② ディスプレイの点滅中に、操作部またはリモコンの『温度/タイマー設定』ボタンを押して温度を設定します。
 - ・ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。
 - ・『温度/タイマー設定』ボタンは、「▲」を押すたびに1℃単位で上がり、「▼」を押すたびに1℃単位で下がります。
 - ・温度は15℃～31℃の範囲で設定できます。



- ③ 温度を設定し、ディスプレイが点滅から点灯になると、設定温度表示から周囲温度表示に切り替わり、設定完了となります。
 - ※周囲温度は、本体に内蔵されている温度センサーが感知する製品の周囲温度となります。

使いかた

■ 各運転モードの動作内容

初めてお使いになる場合や電源プラグを差し直した場合は、周囲温度に応じたモードで運転を開始します。

冷風モード

冷風を送り出します。
周囲温度に応じて以下のように運転します。
※風量は元の設定のまま運転します。

設定温度が周囲温度よりも高い：冷風モード
設定温度が周囲温度よりも低い：コンプレッサーが停止し、ファンによる送風のみ

● 風量の切り替えについて

操作部またはリモコンの『風量』ボタンを押すと、風量を切り替えることができます。



除湿モード

以下のように運転します。

8分間運転→6分間停止を繰り返して湿度を下げます。

● 風量の切り替えについて

除湿モード時は風量「弱」で固定され、切り替えができません。

● 温度設定について

除湿モード時は温度設定できません。



使いかた

自然風モード

設定した風量（弱/強）で風を送り出します。

●風量の切り替えについて

操作部またはリモコンの『風量』ボタンを押すと、風量を切り替えることができます。

●温度設定について

自然風モード時は温度設定できません。

操作部

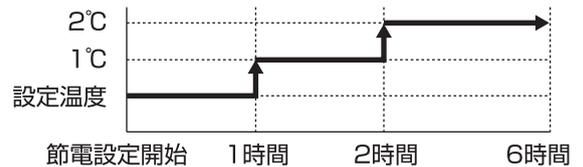


おやすみモード（冷風モードのみ）

以下のように運転します。

※おやすみモード時は自動的に冷風モードでの運転になります。

設定温度が1時間後に1℃上昇し、2時間後にさらに1℃上昇します。
6時間後に運転を停止します。



●風量の切り替えについて

おやすみモード時は風量「弱」で固定され、切り替えができません。

「強」で運転中に「おやすみ」モードに切り替えると、風量ランプは「強」のままですが風量は「弱」になります。

操作部



使いかた

停止する

■ 停止のしかた

運転中に操作部またはリモコンの『電源』ボタンを押すと、すべてのランプとディスプレイの表示が消灯して運転が停止します。

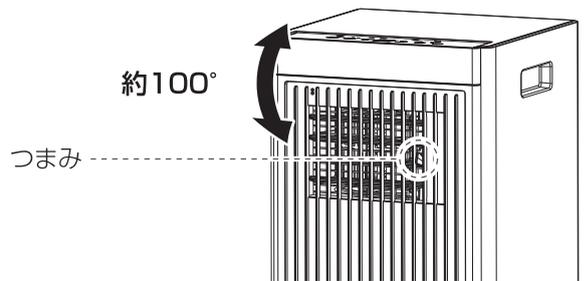
メモリー機能

- 一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。（オフタイマー設定時は除く）
- 電源プラグを差し直した場合はリセットされます。

風向きを調節する

■ 上下方向の調節のしかた

下から2段目のルーバーにあるつまみを持って上下に動かします。



機能を設定する

■ 運転モードと機能の組み合わせ

右表の組み合わせで設定できます。

機能 \ 運転モード	冷風	除湿	自然風	おやすみ
温度設定	○	×	×	○
風量設定	○	×	○	×
オン/オフタイマー	○	○	○	×

使いかた

■ 各機能の動作内容

風量設定

風量の「弱」と「強」を設定します。

● 風量の切り替えかた

運転中に操作部またはリモコンの『風量』ボタンを押します。
『風量』ボタンを押すたびに「弱」と「強」が切り替わります。
『風量』ランプも設定にあわせて点灯します。



メモ 除湿モード・おやすみモード時は風量の切り替えができません。

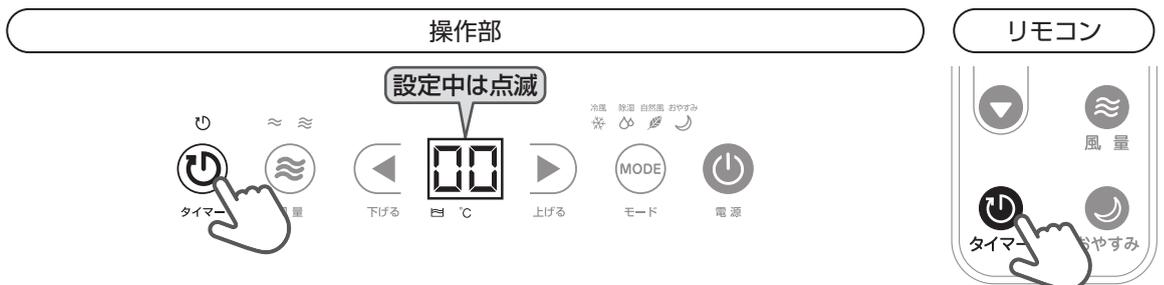
オフタイマー設定

1～24時間の範囲で1時間ごとに設定できます。設定時間が経過すると自動で運転を停止します。

● オフタイマーの設定のしかた

① 運転中に操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイが周囲温度表示からタイマー設定表示「00」に切り替わり、点滅します。

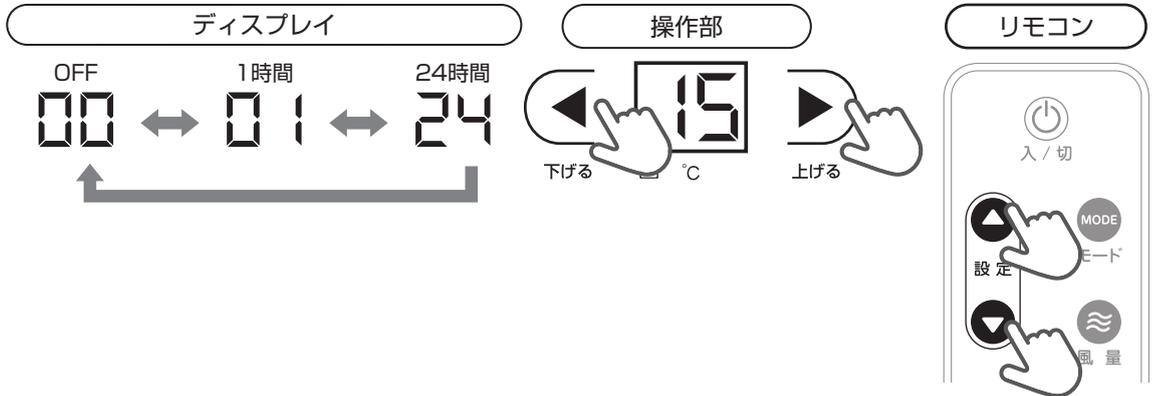
初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときの表示時間は「00」になります。



使いかた

- ② ディスプレイの点滅中に、操作部またはリモコンの『温度/タイマー設定』ボタンを押して時間を設定します。

- ・ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。
- ・『温度/タイマー設定』ボタンは、「▶」を押すたびに1時間単位で増え、「◀」を押すたびに1時間単位で減ります。



- ③ 時間を設定したあと、ディスプレイの時間表示が点滅から点灯に切り替わり、『タイマー』ランプが点灯すると設定完了となります。
オフタイマー設定中は、『タイマー』ランプは点灯したまま運転します。



●オフタイマー設定完了後のディスプレイ表示

オフタイマー設定中は、ディスプレイに周囲温度を表示します。
運転中に残り時間を確認したいときは、本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押すと、ディスプレイに残り時間が約5秒間表示されます。

●オフタイマーの解除のしかた

もう一度操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイの点滅中にもう一度『タイマー』ボタンを押すか、設定時間を「00」にあわせて点灯するまで待つと『タイマー』ランプが消灯して、オフタイマーが解除されます。

使いかた

オンタイマー設定

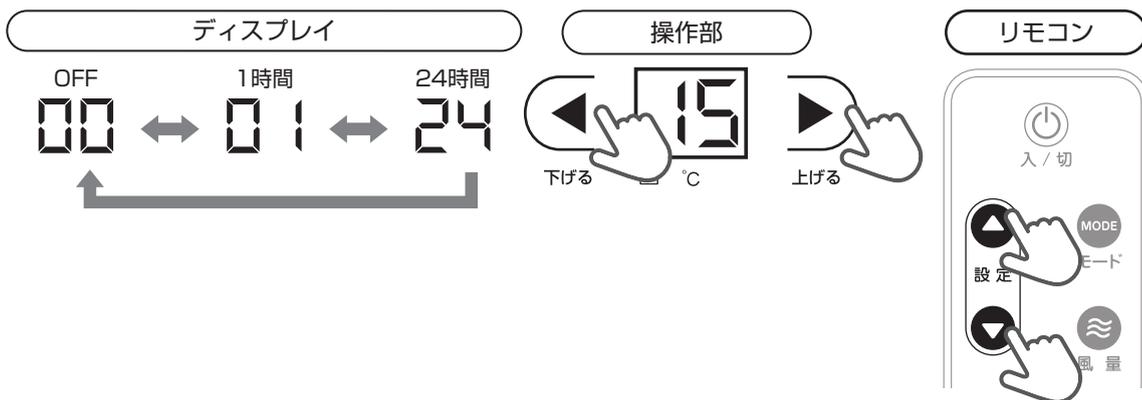
1～24時間の範囲で1時間ごとに設定できます。設定時間が経過すると自動で運転を開始します。

☒ オンタイマーの設定のしかた

- ① 電源オフ時に操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイはタイマー設定表示「00」となり、点滅します。
同時に、現在の設定の『モード』ランプと『風量』ランプが点灯します。
初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときの表示時間は「00」になります。



- ② ディスプレイの点滅中に、操作部またはリモコンの『温度/タイマー設定』ボタンを押して時間を設定します。
 - ・ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。
 - ・『温度/タイマー設定』ボタンは、「▶」を押すたびに1時間単位で増え、「◀」を押すたびに1時間単位で減ります。



- ③ 時間を設定したあと、ディスプレイの時間表示が点滅から点灯に切り替わり、『タイマー』ランプが点灯すると設定完了となります。
オンタイマーの設定中は『タイマー』ランプのみ点灯します。
- ④ 設定した時間が経過すると“ピッ”と電子音が鳴り、記憶された運転モードで運転を開始します。

使いかた

● 運転開始時の動作設定、変更のしかた

『タイマー』ボタンを押します。
設定されている『モード』ランプと『風量』ランプ、ディスプレイが点灯し、
運転開始時の動作設定を変更することができます。
最後の操作から約5秒後に『タイマー』ランプ以外が消灯すると設定完了となります。

● オンタイマー設定完了後のディスプレイ表示

オンタイマーの設定中は、『タイマー』ランプのみ点灯します。
運転開始までに残り時間と運転開始時の動作設定を確認したいときは、『タイマー』ボタンを押してください。

● オンタイマーの解除のしかた

もう一度『タイマー』ボタンを押します。
『タイマー』ランプの点滅中にもう一度『タイマー』ボタンを押すか、
時間の設定を「00」にあわせて約5秒間待つと『タイマー』ランプが消灯して、
オンタイマーが解除されます。
『電源』ボタンを押したときは、運転を開始します。

排水する

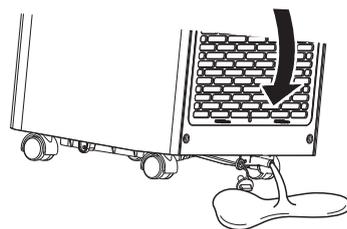
本機はノンドレン機構となっておりますが、湿度が高い環境ではドレン水が溜まりやすくなる場合があります。異常や故障ではありません。

※ノンドレン機構とは運転時のドレン水を内部で蒸発させ排気とともに出す構造です。
水が溜まったり、エラーコード「E4」が表示された場合は、排水キャップを外して排水してください。

■ 排水のしかた

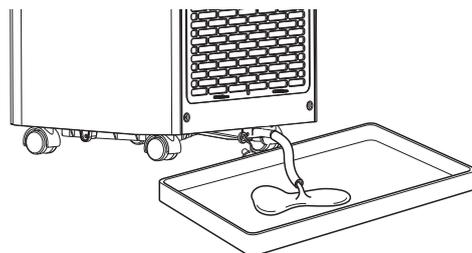
◎ 排水ホースを使用しない場合

- ① 電源を切って電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② 排気ホースを取り外します。
- ③ 水がこぼれないように浴室などの濡れてもよい場所まで本体をゆっくりと移動します。
- ④ 排水キャップを取り外します。
- ⑤ 本体を傾けて排水します。
- ⑥ 排水キャップを取り付けます。



◎ 排水ホースを使用する場合

- ① 電源を切って電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② トレイなどの容器を排水口の下に置きます。
- ③ 排水キャップを取り外します。
- ④ 排水口に排水ホースを取り付けて排水します。
- ⑤ 排水ホースを取り外します。
- ⑥ 排水キャップを取り付けます。



お手入れと保管方法

警告



指示

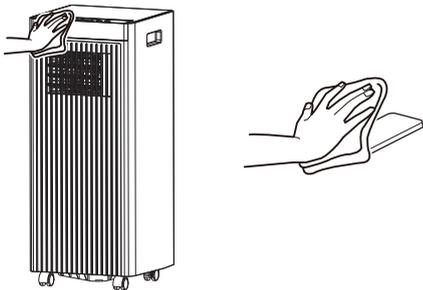
お手入れの際は必ず運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電やけがの原因になります。

■ 本体、リモコンのお手入れ

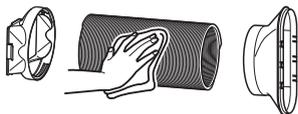
ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取ります。乾いた柔らかい布で拭いたあと、陰干しをしてしっかりと乾かします。

- ・ お手入れには塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- ・ リモコンのボタン電池は取り外してください。



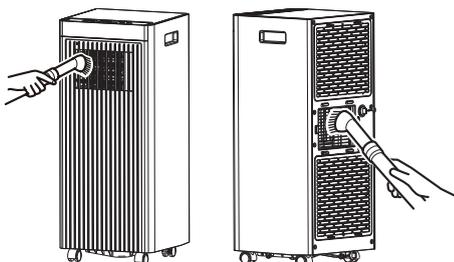
■ 排気ホース、ノズル、ジョイントのお手入れ

本体から取り外して本体と同じ方法でお手入れをします。



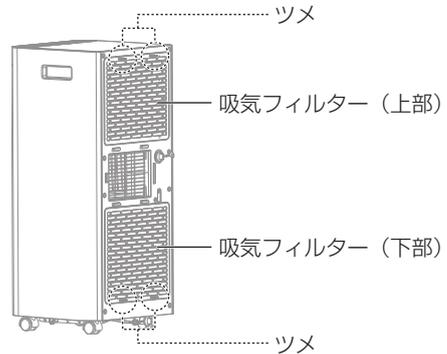
■ 送风口と排気口のお手入れ

すき間にたまったホコリを掃除機で吸い取ります。

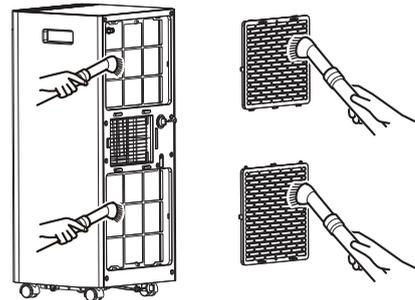


■ 吸気口のお手入れ

- ① 上部・下部の吸気フィルターを取り外します。2箇所のツメを持って手前に引きながら持ち上げて取り外してください。

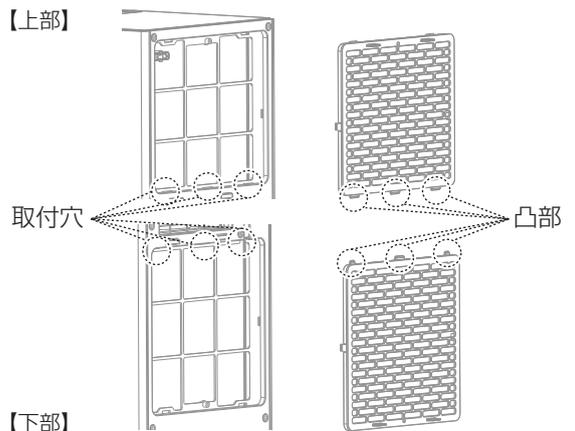


- ② すき間にたまったホコリを掃除機で吸い取ります。



- ③ お手入れのあと、吸気フィルターを本体に取り付けます。

フィルターの凸部（3か所）を取付穴に差し込みながら、カチッと音がするまで本体側に向かって押してください。



点検と修理

■ 本体内部(タンク)のお手入れ

長期間使用しない場合は、排水をしたあと、送風モードで3～4時間運転して内部を乾かします。

■ 保管方法

- お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをしてしっかりと乾かします。湿ったまま保管すると、カビの発生や故障の原因となります。
- リモコンからボタン電池を抜いて、ボタン電池の電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼って保管してください。
- 本体にポリ袋をかぶせ、お買い上げ時の箱などに入れて、直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管してください。

長期使用製品についてのご注意

長期間の使用により下記のような症状が見られた場合は、すぐに電源を切って、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはSCELテクニカルサポートにご相談ください。

- スイッチを入れてもファンが回らない。
- ファンが回っても、回転が不規則に変化する。
- 回転するときに変な音や振動がする。
- モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- 電源コードが折れ曲がったり破損している。
- 電源コードに触れると、電源が切れたり入ったりする。

設計上の標準使用期間

製品本体に表示してある【設計上の標準使用期間】は右記に示す標準的な使用条件の下で使用した場合に安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。製造年は本体ラベルに記載しています。

製品の故障や劣化は、この条件以外でもさまざまな要因に影響を受けます。標準使用期間に達しない場合でも、上記のような異常がみられた場合にはすぐにご使用をやめ、販売店もしくは「SCELテクニカルサポート」にご相談ください。また、「設計上の標準使用期間」は「保証期間」とは違い、本製品の無償修理を保証する期間ではありません。保証内容および期間につきましては本書に添付の「保証書」に記載しています。

		冷風
環境条件	電源電圧	単相100V
	周波数	50/60Hz
	温度(室内)	27℃(乾球温度)
	湿度(室内)	47%(湿球温度19℃)
設置条件	標準的な設置	
	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
負荷条件	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋
想定時間	1年間の使用日数(東京モデル)	6月2日から9月21日までの112日間
	1日の使用時間	9時間/日
	1年間の使用時間	1,008時間



【設計上の標準使用期間】 4年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・ケガ等の事故に至るおそれがあります。

製品の廃棄について

本製品は、特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)の適用商品ではありません。廃棄する場合は、専門の回収業者へ委託し、適切に処理してください。廃棄に関してご不明な点は、各自治体の窓口を確認をお願い致します。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、以下の項目をご確認ください。

症 状	考えられる原因	対処方法
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがはずれている。 『電源』ボタンを押していない。 リモコンのボタン電池の残量が少ない。 保護機能がはたらいている。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに接続してください。 『電源』ボタンを押して運転を開始してください。 製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、早く消耗する場合があります。新しいボタン電池に交換してください。 電源が「オン」から「オフ」へ切り替わったばかりのときや、環境によってはすぐに圧縮機が「オン」にならない場合があります。圧縮機が動くまで約3分程お待ちください。
運転が停止した	<ul style="list-style-type: none"> オフタイマーが作動して停止した。 おやすみモードで運転している。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きご使用になる場合は、『電源』ボタンを押してください。 おやすみ設定をすると、設定してから6時間後に運転が自動的に停止します。
運転モードが切り替わった	<ul style="list-style-type: none"> 冷風モードで運転している。 自動保護機能がはたらいている。 	<ul style="list-style-type: none"> 冷風モードで運転している場合は、本体の周囲温度や設定温度により、運転モードが切り替わります。 冷風モードと除湿モード時は、特定の環境になると自動保護機能が働きます。自動保護機能の詳細は、P.7「知っておいていただきたいこと」をご確認ください。
運転音が大きい	<ul style="list-style-type: none"> 不安定な場所に設置している。 送風口、吸気口などにホコリがたまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 水平で安定した場所に設置してください。 お手入れをしてホコリを取り除いてください。
運転するが涼しくならない／すぐに運転が止まる	<ul style="list-style-type: none"> 送風口、吸気口などにホコリがたまっている。 排気ホースが取り付けられていない。 冷風モードの設定温度が本体の周囲温度よりも高い。 ドアや窓が開いている。 	<ul style="list-style-type: none"> お手入れをしてホコリを取り除いてください。 排気ホースを取り付けて、室外に熱を排出してください。 設定温度を本体の周囲温度よりも低く設定してください。 ドアや窓を閉めてから運転してください。
本体から水が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> 本体が傾いて設置されている。 本体が傾いて状態で移動した。 排水キャップが外れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 水平で安定した場所に設置してください。 本体を移動する際は、傾かないように慎重に移動してください。 排水キャップをしっかりと取り付けてください。
冷風が出ない／運転モードが切り替わらない	<ul style="list-style-type: none"> 圧縮機が停止している。 自動保護機能がはたらいている。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源が「オン」から「オフ」へ切り替わったばかりのときや、環境によってはすぐに圧縮機が「オン」にならない場合があります。圧縮機が動くまで約3分程お待ちください。

故障かな？と思ったら

■ エラー表示について

エラー発生時はディスプレイに下記のエラーコードが表示されます。

エラーコード	エラーの内容	対処方法
	温度センサーが故障した。	直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。 修理が必要となりますので、お買い上げの販売店または弊社サポート窓口までご連絡ください。
	蒸発器オイルパイプセンサーが故障または損傷している。	直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。 修理が必要となりますので、お買い上げの販売店または弊社サポート窓口までご連絡ください。
	タンクが満水になった。	排水してください。

製品仕様

製品名	2.3kw スポットクーラー
品番	H0-2325-WHBR
電源	AC100V 50/60Hz
電気代(1時間あたり)	50Hz:約24.8円/60Hz:約28.6円
冷房能力	50Hz/2.0kW、60Hz/2.3kW
冷房消費電力	50Hz/800W、60Hz/920W
最大除湿能力	24L/日
風量	2段階切替(弱/強)
運転電流	50Hz/9A、60Hz/10A
運転モード	冷風、除湿、自然風、おやすみ
タイマー設定	オン/オフ(1~24時間)
自動保護機能	冷風モード自動停止
運転音	約64dB(冷風モード、風量「強」)
冷媒	R410a/300g
材質	ABS樹脂、アルミニウム
電源コード長	約1.8m
排水タンク容量	約430ml(満水時自動停止)
排気ホース	φ15.4×長さ24~160cm
排水ホース	φ1.6×長さ100cm
外形寸法	幅29.0×奥行28.4×高さ69.5cm
本体質量	20kg
付属品	排気ホース、ジョイント、排水ホース、ノズル、パネル(A、B×2、C)、 パネル固定用金具(固定金具×7、ワッシャ×7、蝶ナット×7)、 レール用アタッチメント×2、取扱説明書(保証書付き)、 リモコン(動作確認用CR2025電池内蔵)、スポンジテープ

※使用される環境によって、送風口や排気口から出る風の温度は変化します。

※1時間あたりの電気代は、31円/1kWh(税込)で計算した際の目安となります。

※本製品仕様・外観は、製品改善・向上のため予告なく変更する場合がございます。

※本体以外の付属品の紛失・交換は、テクニカルサポートへお問い合わせください。(有料)

※本製品は日本国内専用です。

※本製品は一般家庭専用です。

免責事項

- ※ 地震や雷などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ※ 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断など)に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ※ 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ※ 弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤操作などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。

アフターサービス

- 本製品は家庭用です。業務用としては使用しないでください。
- 万一、本体を落としたり、破損した場合は、点検修理を依頼してください。(有料)
- 高温に対するご注意：直射日光の当たるところや暖房器具の近くには放置しないでください。高温により変色や故障の原因になります。
- 保証書：本製品には保証書が付いています。
保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただいたあと、大切に保管してください。
保証期間は、お買上げ日より1年間です。
- 修理を依頼するとき：保証期間中は商品に保証書と販売証明書（コピー可）を添えて弊社テクニカルサポートまたはお買上げの販売店にご持参ください。
保証書の記載内容により無償修理いたします。
保証期間が過ぎているときは弊社テクニカルサポートまたはお買上げの販売店にご相談ください。
- 補修用性能部品の保有期間：この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
 - 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
 - ※ 流通在庫の関係上、期間内でもお届けできない場合があります。
- アフターサービスについてご不明の場合には、弊社テクニカルサポートまたはお買上げの販売店にお問い合わせください。

テクニカルサポートのご案内

故障については、下記のサポート窓口へご相談ください。

サポート窓口	SCEL テクニカルサポート
テクニカルサポートダイヤル	050-3645-3921
受付時間	10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00(土日祝日をのぞく弊社営業日)
FAX	04-2937-3566 (24 時間受付)
修理品等送り先の住所	〒173-0025東京都板橋区熊野町33-1-301 SCELサポート係
ホームページ	https://scel.jp/sp/
お問合せ専用窓口 【パソコン、スマートフォンなど でお問い合わせができます】 (24時間受付)	弊社ホームページからのお問い合わせは 迅速に対応可能です。 ぜひこちらからお問合せをお願いいたし ます。 ●お問合せ専用 QRコード ※スマートフォン などをご利用く ださい  【お問合せ先】 https://scel.jp/sp/con/ またはメールアドレス css@scel.jp

- ・故障やご使用上のご質問は、弊社ホームページにあるサポート「お問合わせ」やFAXにいただくか、テクニカルサポートダイヤルへお電話でお問合わせください。
- ・お問合わせの前に、取扱説明書「トラブルシューティング」や弊社ホームページにあるサポート「よくあるご質問」をご活用ください。
- ・テクニカルサポートダイヤルの受付時間は、予告なしに変更する場合があります。

- ・本製品は、日本国内専用に製造および販売されています。
- ・本製品は、日本国外では使用できません。
- ・本製品を日本国外で使用することによるいかなる問題に対しても、責任を負いかねます。
- ・本製品は、日本国外での技術サポートおよびサービスは行っておりません。
- ・This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
- ・This product can not be used outside Japan.
- ・We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
- ・We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

※本書の著作権は弊社に帰属し、内容の一部または全部を無断に転載することを禁じます。

※製品のデザイン、仕様は改良などにより、予告なしに変更する場合があります。

※本書の内容は、予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書に記載の会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本書について、お気づきの点がありましたら、弊社テクニカルサポート窓口へお問合わせください。

MEMO

MEMO

